

令和6年度第1回太田市公共工事入札等監視委員会 次第

日 時 : 令和6年6月19日(水)

委嘱状交付式終了後

場 所 : 太田市役所10階 政策推進会議室

1 開 会

2 挨拶

3 委員及び事務局紹介

4 委員長及び副委員長の互選について

5 議 題

(1) 太田市の入札契約制度等について

【資料1】

(2) 令和5年度入札・契約状況について

【資料2】

・資料2-① 令和5年度入札・契約状況

・資料2-② くじ引きの状況(契約検査課取扱い案件)

(3) 令和5年度下半期入札契約の内容審査について

【資料3】

・内容審査No.1 : 1級20号道路改良工事

・内容審査No.2 : 【不調】太田市役所本庁舎消火設備改修工事

太田市役所本庁舎泡消火設備ほか改修工事

【不調】太田市役所本庁舎スプリンクラー消火設備ほか改修工事

6 その他

7 閉 会

令和6年度 第1回太田市公共工事入札等監視委員会 会議概要

開催日時	令和6年6月19日(水) 午前9時37分～午前10時47分
開催場所	太田市役所10階 政策推進会議室
出席者	[委員] 大谷委員長、大島副委員長、湯澤委員、中村委員、松本委員(出席) [事務局] 瀬古総務部長 ほかに4名

1 開 会

2 挨拶

《総務部長》

本日はお忙しい中、令和6年度の第1回公共工事等入札監視委員会にお集まりいただきまして誠にありがとうございます。関東地方の梅雨入りはまだのようですけれども、昨日は涼しく、今日は暑くなるようですので、体調管理には、皆様、十分注意していただきたいと思います。

さて本日の監視委員会ですが、令和5年度下半期に執行された入札契約案件につきましてご審査いただくわけですけれども、慎重審議をお願いいたしまして、簡単ではございますが、挨拶とさせていただきます。本日はよろしくお願いたします。

3 委員及び事務局紹介

4 委員長及び副委員長の互選について

委員長は大谷委員、副委員長は大島委員に決定。

《委員長》

改めまして、よろしくお願いたします。皆様のご意見をたくさんいただきながら、やっていきたいというふうに考えておりますので、ぜひよろしくお願いたします。

5 議 題 (進行:委員長)

(1) 太田市の入札契約制度等について

太田市入札制度の基本方針

- ① 原則、条件付一般競争入札により入札を行う
- ② 市内業者への優先発注
- ③ 予定価格・最低制限価格の事前公表

令和6年度の主な変更点

- ① 等級格付で用いる主観数値の審査項目について、安全対策への取組みを追加
工事現場の事故防止による適正な施工と品質確保を図ることを目的とする。
- ② 週休2日制現場の試行拡大
契約後に受注者が週休2日制現場を希望する場合に実施する受注者希望方式を試行拡大する。

《 審議結果 》

委員：業者格付の基準は、経営事項審査の点数に過去の太田市の工事实績を勘案したものという認識で良いか。

事務局：その通りです。売上高であるとか技術者の配置関係を数値化した客観数値に太田市独自の評価項目である主観数値を加算した合計値により行っています。

委員：条件付一般競争入札とする場合と指名競争入札とする場合の違いは何か。

事務局：条件付一般競争入札を基本としていますが、工事の内容により、特定の業者しかできないものがありますので、その場合には入札審査委員会審査のうえ、指名競争入札に手続き変更をしています。

(2) 令和5年度入札・契約状況について

◎令和5年度（実績）

◆入札・契約状況について（事務局より説明）

項目	件数	予定価格(円) (税抜き)	落札金額(円) (税抜き)	単価平均落札率 (対予定価格)	加重平均落札率 (対予定価格)
●競争入札 小計 (対前年比)	515 (111.96%)	8,671,610,000 (91.61%)	8,181,460,000 (95.04%)	87.84% (+1.05ポイント)	94.35% (+3.41ポイント)
条件付一般競争入札 (通常型)	403	8,097,830,000	7,657,010,000	87.41%	94.56%
うち総合評価方式	0	0	0	-	-
条件付一般競争入札 (小規模型)	104	290,070,000	261,220,000	89.34%	90.05%
指名競争入札	8	283,710,000	263,230,000	89.84%	92.78%
●随意契約 小計	6	156,370,000	155,279,200	99.46%	99.30%
うちコンペ又はプロポーザルによる契約	1	34,330,000	34,000,000	99.04%	99.04%
合計 (対前年比)	521 (111.32%)	8,827,980,000 (92.15%)	8,336,739,200 (95.59%)	87.97% (+0.99ポイント)	94.44% (+3.40ポイント)

◆くじ引きによる落札件数の状況（事務局より説明）

種別	令和5年度	令和4年度
工事	42.9%	52.9%
業務委託	建設コンサルタント	12.8%
	役務	94.7%
	業務委託計	76.0%
合計	53.4%	61.3%

《 審議結果 》

委員：加重平均落札率とは何か。

事務局：落札金額合計を予定価格合計で割ったものです。加重平均落札率は、大きな金額の工事の落札率が高い場合には単純平均落札率より高くなり、反対に低い場合には単純平均落札率より低くなります。

委員：くじ引き率が低下しているとはどういう意味か。

事務局：くじ引きにならない案件が多かったということです。工事の入札は、事前公表している予定価格と最低制限価格の間で競争してもらいますが、その中で最低額が複数者いた場合にくじ引きとなります。ですから最低額が複数者でなく、差がついて入札されたケースが多かったということです。

委員：くじ引きの6年間の推移を見たとき、「電気」の令和3年、4年のくじ引き率が高い要因は何か。

事務局：コロナの影響で工事件数が少なかった影響があるかもしれませんが、後で調べて回答します。

後日回答：くじ引きの多寡は、工事内容や業者の繁閑など複合的な要素に左右されるため、該当2か年度が突出している明確な理由は分かりませんが、いわゆるコロナ禍のなか、仕事が減少したため、最低制限価格でも受注しようという方針の業者が通常より多くなり、結果としてくじ引きが多くなったのではないかと推測します。また令和4年4月に最新の中央公契連モデルに改正したことで、最低制限価格が上昇したことも要因の可能性あります。

委員：「樹木剪定等」の予定価格、最低制限価格はなぜ事後公表なのか。

事務局：業務の性質として、材料費がかからず、経費のうち人件費の割合が高いため、金額が安くてもできてしまうところがあると考えます。予定価格は、以前は事前公表としていましたが、最低制限価格でくじ引きになる事案が多く、少しでも競争性を確保するため、現在は事後公表としています。

委員：随意契約のプロポーザルはどのような案件か。

事務局：花と緑の課の太田中央公園ゆったりトイレ改修工事です。落札金額（税抜）は3400万円で、改修にあたり、民間の知恵を借りるためにプロポーザル方式で実施したものです。

(3) 令和5年度下半期入札契約の内容審査について

◆内容審査 No. 1：1級20号道路改良工事

●発注概要・経過（事務局より説明）

[経緯説明]

本事業は、新島町地内の1級20号道路を4車線化する事業であり、事業期間は令和5年10月から令和6年度までです。入札条件ですが、入札方式は条件付一般競争入札、工種は土木一式、特定建設業許可を有する市内のA等級業者を対象に発注いたしました。入札の結果としては、12者の応札があり、荻原建設株式会社が1億800万円で落札し、落札率は98.46%でした。

本案件の特徴としては、本市で初めて週休2日制現場を採用した工事となります。週休2日制現場とは、請負業者の現場代理人、主任技術者を週に2日休ませるとともに、工事現場を閉所する制度です。労働基準法の改正を背景に、国は週休2日制現場を推進しています。本制度には工期が長くなり経費もかかるといった課題もありますが、労働者のワークライフバランスを改善し、将来の担い手を確保するため、太田市でも令和5年9月に試行要領を制定し、本案件がその適用第1号となります。

週休2日制現場を試行したことによる影響ですが、工事費については約3.5%の約400万円の増加、工期については約1か月長くなりました。

週休2日制現場の発注方法としては、発注時にあらかじめ経費を上乗せして積算する発注者指定型と、発注後に受注者が希望した場合に、経費の補正を行う受注者希望型の2種類があります。本案件は発注者指定型で試行しましたが、国では原則すべての工事を対象に発注者指定型により実施しており、県では原則すべての工事を対象に受注者希望型を基本としつつ、発注者指定型を現場状況により採用しています。また高崎市では原則すべての土木工事及び機械設備工事を対象に群馬県の方法に準じて実施しています。

本制度は、令和6年度からはさらに試行拡大して実施する方針ですが、諸課題を解決しながら段階的に取組んでいきたいと考えています。

以上がNo.1の案件の説明となります。

内容審査 No.1		発注形態	条件付一般競争入札 (事後審査型)	
案件名	1級20号線道路改良工事		履行場所	太田市新島町地内
概要	施工延長 L=518.6m 排水構造物工 (L型側溝1型~4型) L=772.1m 街渠柵 N=59箇所 地先境界ブロック L=938.1m 歩車道境界ブロック L=181.3m 車道舗装 A=1627.4m ² 歩道舗装 A=2322.7m ² 構造物撤去工 一式 【注意事項】週休2日制現場の実施対象工事			
契約年月日	令和5年10月23日			
履行期間	令和5年10月24日～令和6年3月31日 (標準工期260日)			
予定価格	109,690,000円 (税抜き)			
落札価格	108,000,000円 (税抜き)	落札率	98.46%	
契約の相手方	所在地 名称 代表者名	群馬県太田市新田上田中町131-1 荻原建設(株) 代表取締役 荻原 丈始		
入札結果	●13者が参加申請、1者が辞退、12者による入札			

《 審議結果 》

委員：週休2日制は、発注者、受注者双方に課題があると感じる。

委員：現場の職人は日当ではなく現場単位で報酬が支払われるため、工期を短くして少しでも多くの現場をこなしたいという考えの人もいる。

事務局：いろいろな考えがあることは承知していますが、国の方針として週休2日制現場を推進しているということがありますので、市としてもまずは試行しました。令和6年度はさらに拡大して試行します。

委員：業者側の希望状況はどうか。

事務局：今のところ対象案件が少ないため何ともいえませんが、今後は希望が増え、週休2日が標準になってくるのではないかと思います。発注者、受注者双方に課題はありますが、働き手確保の問題などを考慮すれば、全国的にも拡大していく流れなのではないでしょうか。

委員：休みの日は受注者が決められるのか。

事務局：閉所日は、原則、土曜日と日曜日としていますが、希望により日曜日と任意の曜日とすることもできます。

◆内容審査 No. 2 : 【不調】 太田市役所本庁舎消火設備改修工事

太田市役所本庁舎泡消火設備ほか改修工事

【不調】 太田市役所本庁舎スプリンクラー消火設備ほか改修工事

●発注概要・経過 (事務局より説明)

[経緯説明]

本事業は、太田市役所本庁舎の経年劣化した消火設備等(スプリンクラー消火設備、固定式泡消火設備、二酸化炭素消火設備、移動式泡消火設備)を改修する工事です。入札方式は条件付一般競争入札、工種は消防施設、特定建設業許可を有する業者を対象に発注いたしました。なお地域要件については、特定建設業許可をもつ業者に限られていることから、地域要件なしとしました。また専門技術者として、スプリンクラー消火設備は消防設備士甲種第1類、泡消火設備は同甲種第2類、二酸化炭素消火設備は同甲種第3類の資格が必要になりますので有資格者の配置を求めました。入札の結果としましては、参加申請は2者からあったものの、特定建設業許可の入札条件を満たさないため2者とも辞退となり、入札不調となりました。

不調の要因としては、消防設備の登録で特定建設業許可を有する業者が名簿上8者おりましたが、すべてが市外業者であり、該当の業者に興味を持ってもらえなかったことであると分析しました。

そこで再発注にあたっては、スプリンクラー消火設備と、泡消火設備、二酸化炭素消火設備の2本の工事に分けて発注し、特定建設業許可を不要とすることで参加可能業者数を増やすこととしました。

再発注の1本目が太田市役所本庁舎泡消火設備ほか改修工事です。前回発注からの変更点としては、特定建設業許可を有さない業者も参加可能としたことと、地域要件として県内に本店があるもの又は県内に支店、営業所を有するものとしたことです。地域要件は、専門技術者である消防設備士資格の保有状況を踏まえ、市内ではなく県内まで地域を拡大して設定しました。

再発注の2本目は太田市本庁舎スプリンクラー消火設備ほか改修工事です。こちらの案件の前回からの変更点としては、特定建設業許可を有さない業者も参加可能としたことと、地域要件は市内業者としたことです。地域要件は、スプリンクラー工事に必要な消防設備士甲種第1類の資格について、市内業者においても比較的保有者がいることから市内業者への発注としたものです。

入札結果ですが、泡消火設備ほか改修工事については、2者より参加申請があり、1者は辞退したものの市内業者の(株)グンエイが落札しました。スプリンクラー消火設備ほか改修工事については、同一の2者が参加申請し、2者辞退となり、不調となってしまいました。不調案件については、辞退理由を業者に確認しつつ、担当課と協議の上、発注方法を検討していきたいと考えております。

以上がNo.2の2案件のご説明となります。

内容審査 No.2 - ①		発注形態	条件付一般競争入札 (事後審査型)	
案件名	太田市役所本庁舎消火設備改修工事	履行場所	太田市浜町2番35地内	
概要	1 消火設備改修 2 雨水ろ過配管改修 3 上水配管漏水調査	・スプリンクラー消火設備改修 一式 ・二酸化炭素消火設備改修 一式	・固定式泡消火設備改修 一式 ・移動式泡消火設備改修 一式	
契約年月日	-			
履行期間	令和5年10月24日～令和6年3月22日			
予定価格	95,160,000円 (税抜き)			
落札価格	不調	落札率	-	
契約の相手方	所在地 名称 代表者名	-		
入札結果	●2者が参加申請、2者が辞退			

内容審査 No.2 - ②		発注形態	条件付一般競争入札 (事後審査型)	
案件名	太田市役所本庁舎泡消火設備ほか改修工事	履行場所	太田市浜町2番35地内	
概要	固定式泡消火設備工事 一式 移動式泡消火設備工事 一式 二酸化炭素消火設備工事 一式			
契約年月日	令和5年11月28日			
履行期間	令和5年11月29日～令和6年3月31日 (標準工期150日)			
予定価格	59,770,000円 (税抜き)			
落札価格	58,500,000円 (税抜き)	落札率	97.88%	
契約の相手方	所在地 名称 代表者名	群馬県太田市飯田町812 (株)グンエイ 代表取締役 蓮沼 敏美		
入札結果	●2者が参加申請、1者が辞退			

内容審査 No. 2 - ③		発注形態	条件付一般競争入札 (事後審査型)	
案件名	太田市役所本庁舎スプリンクラー消火設備ほか改修工事		履行場所	太田市浜町2番35地内
概要	スプリンクラー消火設備工事 一式 雨水ろ過配管改修 一式 上水配管漏水調査 一式			
契約年月日	-			
履行期間	令和5年11月29日～令和6年3月31日 (標準工期150日)			
予定価格	38,620,000円 (税抜き)			
落札価格	不調	落札率	-	
契約の相手方	所在地 名称 代表者名	-		
入札結果	● 2者が参加申請、2者が辞退			

《 審議結果 》

委員：スプリンクラー消火設備ほか改修工事を再発注する場合、泡消火設備ほか改修工事の落札業者が参加できるかどうか、その条件の検討は入札審査委員会で行うのか。

事務局：条件の検討は入札審査委員会で行います。再発注のタイミングにもよりますが、泡消火設備ほか改修工事が終わるタイミングであれば参加できるのではないかと思います。ただし業者の手持ち工事の状況にもよりますので実際に参加申請があるかどうかは分かりません。

委員：スプリンクラー消火設備ほか改修工事は、消防法の観点から早急に実施しなくても大丈夫なのか。

事務局：不具合があるわけではなく、更新工事なので大丈夫と認識しています。

委員：再発注にあたり、発注条件の緩和を考えているか。

事務局：できるかぎり市内業者へ発注したいという考えがあります。もしどうしても急いで発注しなければならないのであれば、指名競争入札で市外業者を指名するという方法もあるかと思いますが、担当課の意向として、もう少し待てるということです。

委員：最初の発注時に特定建設業許可が必要との条件があったとのことだが、その基準は何か。

事務局：市内部で非公表の基準を設けています。予定価格が一定金額以上の場合、特定建設業許可が必要ということとしています。

委員：随意契約できる基準の金額は公表されていたか。

事務局：随意契約は、法令で具体的な金額も含めて、できるものが明確に定められています。

6 その他 (特になし)

7 閉会

《総務部副部長》

本日は大変貴重なお時間また貴重なご意見をいただきまして、誠にありがとうございました。入札制度につきましては我々職員一同、公明、公平、そして透明性の確保を第一に、業務を遂行して参りたいと考えておりますので、委員の皆様におかれましては今後ともご指導のほどよろしくお願いいたします。本日はどうもありがとうございました。